

Y型

	〇〇イ
	〇〇ン
〇イ〇ツ	〇〇ツ
〇イ〇チ	〇〇チ
〇イ〇ク	〇〇ク
↑ ↑ ↑	〇〇キ
Q O P	〇〇ウ
符号 省略位置	↑ ↑ ↑
	Q O P
	符号省略位置

*〇は1音をあらわしている。すなわち直音、幼短音である。

*ウを帶有する長音、幼長音は、元来1音であるが、ここでは便宜上〇ウと表示して、あたかも2音のように扱っている。

*Bの語を、上記のX型、Y型の2種類に分類した。そして、各音に対して説明の都合上O、P、Qの名称を与える。

O=Omission (オMISSION=省略の意)

P=Position (POSITION=位置の意味)

Q=Quantity (クワンティティ=数量をあらわす符号の意味)

3. Pをあらわす方法

イ……………Aに相当する符号の中部にBのQを交差する。(中部交差)

*交差できないときは、正側中部に平行させる。

ン……………Aに相当する符号の中部に空間をとって、BのQを書く。(中部空間)

ツ・チ…Aに相当する符号の尾部に空間をとって、BのQを書く。(尾部空間)

ク……………Aに相当する符号の尾部にBのQの頭部を突き出す。(ツノ出し)

キ……………Aに相当する符号の尾部にBのQの頭部に交差する。(尾部交差)

ウ……………Aに相当する符号の中部にBのQの頭部に接触させる。(中部接触)

*接触できないときは、負側尾部から平行させる。

4. 書き方

① Qに相当する符号を、Oを省略して、Pの位置へ書く。

*結局、X型はPが順記、Y型はPが逆記の形で示される。

② Qの〇ンは1 u N符号を使用してあらわしてもよい。小円逆記の符号を使うときは、小円は省略する。

③ Qの〇ツは、有尾小円逆記の方法によらないで、清音符号であらわす。

*そのとき、〇が6 uのときには1 u化する。